



環境経営レポート 2024

対象期間 2023年11月1日～2024年10月31日

発行日 2025年 5月28日



株式会社 日東工業

〒179-0081 東京都練馬区北町 5-18-13

Tel 03-6906-4441

1 環境経営レポート2024発行にあたって

弊社のエコアクション21について(対象範囲など)

認証・登録番号	0008152
事業活動	鋼構造物工事業、内装仕上工事業、建築工事業(店舗新築工事、内外装工事、看板の製作、プラスチック製品製作)
対象事業所	本社 〒179-0081 東京都練馬区北町5-18-13
認証・登録日	2012年3月27日
従業員数	25 名 2025年2月21日 現在
対象範囲	上記の全組織、全活動

環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

弊社が遵守しなければならない環境関連法規などとして、建設リサイクル法、廃棄物処理法などがあります。
弊社では、これらの法規制遵守のために、弊社に關係する法規制などの一覧表を作成し、定期的に遵守状況をチェックすることにより、違反のないことを自主的に確認しています。
なお、これらの法規制に対する關係当局からの違反の指摘、及び関連する訴訟は過去5年間ありませんでした。

ごあいさつ

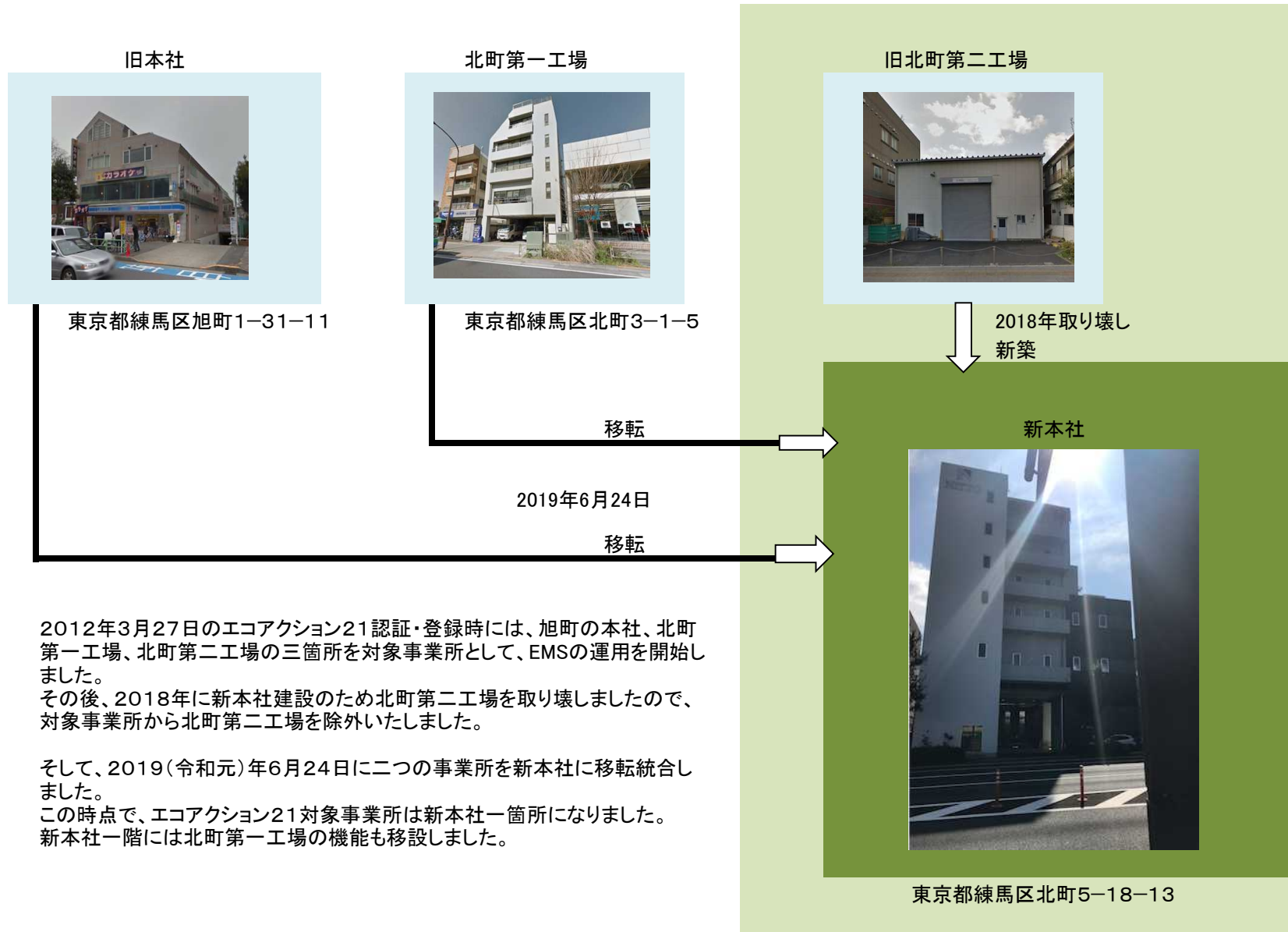
2024年度の環境経営レポートを発行いたします。

新体制も軌道に乗り始め「ワンストップ体制の強みを活かしてお客様のわずらわしさを解消し共に造り上げる喜びと想いが形になる満足感を提供いたします」というスローガンの浸透に積極的に取り組んでおります。業績も順調に伸びつつありますが、それに伴う人材の育成に主眼を置き、環境配慮・貢献に尽力する指導をしております。例年の目標ですが、①各人管理の社用車のエコドライブ推進等に依る燃費の向上②建築産廃中の混合廃棄物の発生量の抑制の以上2項目を環境経営目標の内の主体目標に掲げて参ります。又、SDGsへの取り組みも社員一丸になり、「社会の環境課題に通じた社業の発展を念頭に環境経営に取り組んで参りたいと思います。今後も、ご支援とご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。



2025年2月21日
株式会社 日東工業
代表取締役 薄井 学

2 エコアクション21対象事業所の変遷



3 組織概要

①事業所名 株式会社日東工業

②代表者 代表取締役 薄井 学

③所在地
〒179-0081
東京都練馬区北町5-18-13

④環境管理責任者 杉本一太

⑤担当者 杉本一太

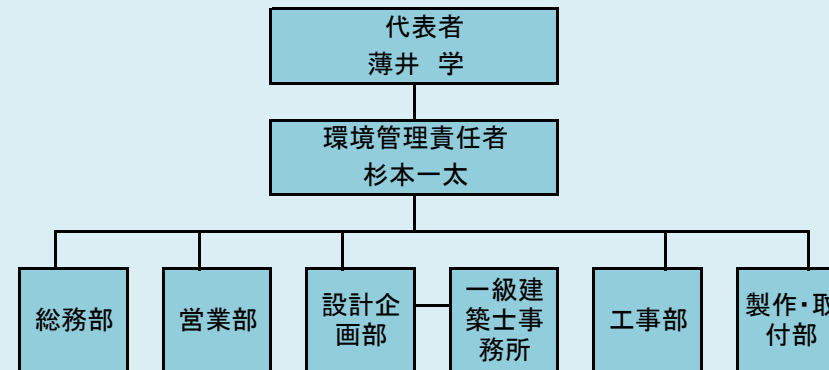
⑥担当者連絡先
電話 03-6906-4441
FAX 03-6906-4445

⑦事業活動の内容
鋼構造物工事業、内装仕上工事業、建築工
事業（店舗新築工事、内外装工事、看板の製
作、プラスチック製品製作）

⑧売上高（2024年度）
2023年11月1日～2024年10月31日
386,000 万円

⑨本社ビル
敷地面積 464.77㎡
建築面積 306.65㎡
延床面積 1903.71㎡
規 模 地下1階・地上6階建て

エコアクション21実施体制



役割分担

代表者	・環境方針を定める・環境管理責任者を指名する・資源（人材・資金・技術）の用意・環境経営システム等の全体的見直し
環境管理責任者	・環境経営システムの総責任者としての役割権限・環境経営システムの実績を代表者に報告・各部門の環境目標をまとめ、達成状況を確認、記録・各部門の環境活動計画をまとめ、実施状況を確認、記録・環境教育訓練実施状況確認 ・環境関連法規制などの遵守状況確認・文書の様式作成、保存管理・環境経営システム運用上の事務管理・環境活動レポートのとりまとめ
部門長	・部門環境目標、環境活動計画策定、達成・実施状況確認、評価・部門環境教育訓練計画策定実施・是正処置、予防処置の実施
部 員	・部門及びグループ環境活動計画の実施

4 環境経営方針

基本理念

弊社は、相互感受で、一つの大家族的なコミュニティであることをめざしながら、店舗建築専門型総合建設業として成長することを通じて、地域社会においてはよき企業市民として、また、お客様においては「痒い処に手の届く」よき協力者として、高い評価をいただけるよう常に精進してまいります。また、これらの活動を通じて、社会の環境課題解決につとめ、持続可能な社会の実現に貢献することによって、弊社の企業価値をさらに高めていくことを誓います。

制定 2011 H23) 年5月5日

改訂 2019 (R1) 年7月8日

改訂版の運用開始 2019年11月1日から

株式会社 日東工業
代表取締役 薄井 学

行動指針

(総括指針)

1. エコカーなどの環境性能の良い製品や商品の販売を促進するための店舗づくりを通じて、地球環境の保全に貢献します。

(エネルギー/温暖化対策)

2. 建設作業中および建物完成後の省エネルギーを常に意識して行動し、低炭素・脱炭素社会の実現に貢献します。

(資源循環の推進)

3. 店舗改修工事主体の事業特性を考慮し、特に解体・リサイクルを意識して行動し、循環型社会の実現に貢献します。

(自然共生・生物多様性・陸の豊かさを守ろう)

4. 持続可能な社会が、環境と社会、経済の調和の上に成り立つことを意識して行動し、建設工事を通じて自然共生社会の実現に貢献します。

(クリーンエミッション)

5. 建設作業中および完成後建物からの大気中への有害化学物質排出を抑制することを意識して行動し、クリーンな社会環境の実現に貢献します。

(遵法)

6. 弊社に適用される環境関連法規などを遵守します。

(環境マネジメント)

7. 上記の事業活動を確実に実行するため、環境経営システム・エコアクション21を全組織、全活動に導入してこれを継続的に改善します。

5 環境経営目標と実績

環境経営方針	環境経営目標	中長期目標 2021/11～2026/10	今年度目標 2024年度 2023/11～2024/10	基準値 2018年度は 過去のデータによる	今年度 目標値	実績値	達成率	達成状況	備考
1 環境に配慮した建設工事の提案や情報提供、施工を通じて、お客様の環境負荷低減に貢献します。	節電、省エネ関連建設工事の受注増加	基準年度比件数20%増加	同左	122	146	153	104.8%	○	新築・改修工事
	節電、省エネ関連建設工事相談受付件数増加	基準年度比件数20%増加		28	33	77	233.3%	○	内装・営繕工事
2 省資源、省エネルギーに努め、事業活動に起因する環境負荷の低減を図ります。	電力使用による二酸化炭素排出削減	基準年度比5%削減(t-CO2)	同左	33.470	31.000	17.860	173.6%	○	今年度CO2排出量 17.86
	ガソリン使用による二酸化炭素排出削減	基準年度比5%削減(t-CO2)	同左	58.353	55.000	86.563	63.5%	△	今年度CO2排出量 86.563
	軽油使用による二酸化炭素排出削減	基準年度比5%削減(t-CO2)		14.017	13.000	11.962	108.7%	○	今年度CO2排出量 11.96
	灯油使用による二酸化炭素排出削減	基準年度比5%削減(t-CO2)	同左	2	1	1	113.9%	△	今年度CO2排出量 0.878
	総給水量の削減(節水)	基準年度比3%削減(t)※基準年度2022年		151	146	150	97.6%	△	
	産業廃棄物の排出量削減	基準年度比5%削減(t)※基準年度2022年	同左	1,449	1,376	1,182	116.4%	○	削減目標基準値再設定
	産業廃棄物における混合廃棄物率の削減	混合廃棄物率20%以下		20%以下	236 t	390 t	混合廃棄物率 33.0%	×	
	一般廃棄物の排出量削減	基準年度比3%削減(t)※基準年度2022年		0.31	0.30	0.25	122.7%	○	
3 関係する環境法規や地域との取り決め等を遵守すると共に、企業市民として地域社会の環境保全活動に積極的に取り組みます。	環境関連法規等の遵守	年間1回の遵守チェック	同左	1	1	1	達成	一般建築物石綿含有建材調査者の資格取得	

1) 電力の二酸化炭素排出量算定に使用した排出係数

電力事業者	東京ガス株式会社(A0064)	排出係数	0.000318 (t-co2/kwh)
-------	-----------------	------	----------------------

環境省 電気事業者別排出係数 R5年度実績 事業者全体

2) 弊社ではPRTR法に定める化学物質は使用していないので、化学物質削減についての目標は設定しておりません。

6 環境経営目標、環境経営計画の実績評価・取組結果とその評価

環境経営目標	達成率	目標の設定方法やレベルに問題点はなかったか	確認・評価の頻度は適切だったか	環境経営計画(活動)	スケジュールは守られたか	責任者・担当者は決まっていたか	取組方法に問題はなかったか	四半期ごとの評価			
								第1期	第2期	第3期	第4期
節電、省エネ関連建設工事の受注増加	104.8%	○	四半期ごとの確認・評価	販売促進	○	○	○	○	○	○	○
				施工品質の向上							
節電、省エネ関連建設工事相談受付件数増加	233.3%	○	四半期ごとの確認・評価	広報促進	○	○	○	○	○	○	○
電力使用による二酸化炭素排出削減	173.6%	○	月次確認・評価	節電活動	○	○	○	○	○	○	○
ガソリン使用による二酸化炭素排出削減	63.5%	売上増による移動距離の増大	月次確認・評価	エコドライブ活動	△	○	△	△	△	△	△
軽油使用による二酸化炭素排出削減	108.7%	○	月次確認・評価	エコドライブ活動	○	○	○	○	○	○	○
総給水量の削減(節水)	97.6%	節水活動の定着	四半期ごとの確認・評価	節水活動	○	○	△	○	△	△	○
事務用グリーン購入の増加	0.0%	環境意識の定着	四半期ごとの確認・評価	購入品のリストアップに関する情報収集	-	-	-	-	-	-	-
産業廃棄物の排出量削減	116.4%	○	四半期ごとの確認・評価	排出抑制と分別、資源化	○	○	△	○	○	○	○
産業廃棄物における混合廃棄物率の削減	目標値20% 33.0%	改修工事の増加に比例してしまふ為、目標値の再設定が必要	確認と評価は半期が妥当	分別の徹底周知	×	○	△	×		×	
一般廃棄物の排出量削減	122.7%	3R活動の定着	四半期ごとの確認・評価	排出抑制と分別、資源化	○	○	○	○	○	○	○
環境関連法規等の遵守	達成	○	毎年8月に確認・評価	毎年8月にチェックする	○	○	○	-	-	-	-

注) ○印は95%以上、特に問題無し。
△印は実施不十分。
×印は未達成とする。

7 代表者による全体の評価と見直し・指示

環境経営目標	環境経営計画 （活 動）	評価			改善指示（2025年2月25日）
		目標の設定方法やレベルの問題点	目標未達成の原因	目標未達成への改善点	
節電、省エネ関連建設 工事の受注増加	販売促進	2024年度、売上増及び解体工事増により廃棄物の増加が目立つ。解体工事が増え混合廃棄物の量が増えた。業務過多により、混合廃棄物削減や分別の意識が低くなっている。	ガソリンについては、売上増による移動距離や車両使用頻度が上がったことに起因する。	ガソリン使用は、引き続き総量削減ではなく、1台ごと燃費削減をエコ・ドライブを徹底する。また、廃棄物の分別については、現場単位での意識向上に努める。	エコドライブ（急発進・急加速の防止や積載重量の軽減）やアイドリングストップに努めることを全員に徹底する。廃棄物の増大は売上増により仕方ないが、引き続き混載廃棄物の減量に努め、リサイクルできるような解体及び加工を徹底する。
	施工品質の向上				
節電、省エネ関連建設 工事相談受付件数増加	広報促進				
電力使用による 二酸化炭素排出削減	節電活動				
ガソリン使用による 二酸化炭素排出削減	エコドライブ活動				
軽油使用による 二酸化炭素排出削減	エコドライブ活動				
総給水量の削減（節水）	節水活動				
事務用グリーン購入の 増加	購入品のリストアップに関する情報収集				
産業廃棄物の排出量 削減	排出抑制と分別、資源化				
一般廃棄物の排出量 削減	排出抑制と分別、資源化				
環境関連法規等の遵守	毎年8月にチェックする				
実施体制		改修工事における混載を分別に変えていく意識を社内のみならず、解体業者にも周知徹底する。無駄な移動は控え、直行直帰を推奨しガソリン使用量を減らす。			
環境経営方針		環境経営方針の徹底と意識づけに尽力する。			環境方針をしっかりと実行させること。

8 次年度（2025年度）の環境経営目標及び環境経営計画

赤字は数値目標

環境経営方針

赤字は数値目標		社外活動			社内活動		
		工事部	営業部	製作・取付部(工場部門)		設計企画部	総務部
				取付	製作		
環境経営方針							
(総括指針)	目標→	¥3,850,000,000		看板:300件	建築:250件	看板:250件 建築:2000件	常に念頭に置いて活動する
1.エコカーなどの環境性能の良い製品や商品の販売を促進するための店舗づくりを通じて、地球環境の保全に貢献します。	目標達成活動→	下記による	下記による	下記による	下記による	下記による	下記による
(エネルギー/温暖化対策)	目標→	省電力作業 エコドライブを通じた省エネ推進と交通事故防止	エコドライブを通じた省エネ推進と交通事故防止	省電力作業 エコドライブを通じた省エネ推進と交通事故防止	省電力作業	省エネ関連環境配慮設計 省電力作業	社屋節電作業 社屋節水活動
2.建設作業中および建物完成後の省エネルギーを常に意識して行動し、低炭素・脱炭素社会の実現に貢献します。	目標達成活動→	省電力工事器具の使用	事故・違反件数ゼロ	省電力工事器具の使用	省電力工事器具の使用	環境配慮設計	昼休み時の消灯・節電
		エコドライブ/月別燃費記録	エコドライブ/月別燃費記録	エコドライブ/月別燃費記録	LED照明への更新	残業を減らし消費電力削減	洗面・流しの節水
(資源循環の推進)	目標→	混合廃棄物の減量を通じた建設リサイクル推進と産廃コスト削減	常に念頭に置いて活動する	常に念頭に置いて活動する	混合廃棄物の減量を通じた建設リサイクル推進と産廃コスト削減	解体・リサイクル関連環境配慮設計	
3.店舗改修工事主体の事業特性を考慮し、特に解体・リサイクルを意識して行動し、循環型社会の実現に貢献します。	目標達成活動→	分別	環境経営方針カード所持	環境経営方針カード所持	分別	環境配慮設計	再生品・リサイクル品購入
		トン袋で分別する			トン袋で分別する	再利用可能な素材使用	
(自然共生・生物多様性)	目標→	常に念頭に置いて活動する	常に念頭に置いて活動する	常に念頭に置いて活動する	常に念頭に置いて活動する	自然共生関連環境配慮設計	常に念頭に置いて活動する
4.持続可能な社会が、環境と社会、経済の調和の上に成り立つことを意識して行動し、建設工事を通じて自然共生社会の実現に貢献します。	目標達成活動→	環境経営方針カード所持	環境経営方針カード所持	環境経営方針カード所持	環境経営方針カード所持	環境配慮設計	環境経営方針カード所持
(クリーンエミッション)	目標→	有害化学物質不使用	常に念頭に置いて活動する	常に念頭に置いて活動する	有害化学物質不使用	有害化学物質不使用関連環境配慮設計	常に念頭に置いて活動する
5.建設作業中および完成後建物からの大気中への有害化学物質排出を抑制することを意識して行動し、クリーンな社会環境の実現に貢献します。	目標達成活動→	F☆☆☆☆(Fフォースター)使用	環境経営方針カード所持	環境経営方針カード所持	F☆☆☆☆(Fフォースター)使用	環境配慮設計	環境経営方針カード所持

注)「目標」は環境経営目標、「目標達成活動」は環境経営計画の項目

9 次年度(2025年度)株式会社日東工業 環境経営目標・実績一覧表

	目標項目	今年度目標	基準値 2018年度	単位	中長期目標値 2026年度	今年度目標値 2024年度	今年度実績 2024年度	達成率%	来年度目標値 2025年度	摘 要
	(総括指針)									
1①	売上金額 (全体)	前年比0.5%増加	¥2,744,087,000	円	¥2,855,790,670	¥3,517,500,000	¥3,874,416,000	110%	¥4,068,000,000	
1②	看板等工事件数 (工場・製作取り付部)	前年比0.5%増加	看板 90 建築 38		看板 94 建築 40	看板 424 建築 333	看板 368 建築 233	86% 70%	看板 386 建築 245	看板工事の案件減
1③	物件創案(立案)件数 (設計・企画部)	前年比0.5%増加	看板 67 建築 81	件	看板 70 建築 84	看板 515 建築 1935	看板 460 建築 2022	89% 104%	看板 483 建築 2123	看板工事の案件減
1④	常に念頭に置いて活動する	同左	-	-	-	-		-		
	(エネルギー/温暖化対策)									
2①	省電力作業	同左								
2②	エコドライブを通じた省エネ推進と交通事故防止1	燃費前年比0.5%向上	ガソリン:12.79 軽油:9.56	km/l	ガソリン:13.31 軽油:9.95	ガソリン:13.17 軽油:9.85	ガソリン:11.76 軽油:8.18	89.3% 83%	ガソリン:11.82 軽油:8.22	2025年度より目標値再設定 前年比0.5%
2③	エコドライブを通じた省エネ推進と交通事故防止2	事故・違反件数ゼロ	4	件	0	0	8		0	安全運転の徹底
2④	省エネ関連環境配慮設計	同左	-	-	-	-		-		
2⑤	社屋節電作業	新社屋データ収集	-	-	-	-		-		別紙参照
2⑥	社屋節水活動	新社屋データ収集	-	-	-	-		-		別紙参照
	(資源循環の推進)									
3①	混合廃棄物の減量を通じた建設リサイクル推進と産廃コスト削減	混廃率(20%) 目標値 単年度	20	%	20	20	33	60.6%	20	産業廃棄物総量における混合廃棄物率(単年度)
3②	常に念頭に置いて活動する	同左	-	-	-	-		-		
3③	解体・リサイクル関連環境配慮設計	同左	-	-	-	-		-		
3④	事務用品のグリーン購入	同左	-	-	-	-		-		
	(自然共生・生物多様性)									
4①	常に念頭に置いて活動する	同左	-	-	-	-		-		
4②	自然共生関連環境配慮設計	同左	-	-	-	-		-		
	(クリーンエミッション)									
5①	有害化学物質不使用	同左	-	-	-	-		-		
5②	常に念頭に置いて活動する	同左	-	-	-	-		-		
5③	有害化学物質不使用関連環境配慮設計	同左	-	-	-	-		-		